

平成24年度 協働事業振返り調査票

協働事業の名称 おゆみ野フォーシーズンプロジェクト

所属名(団体名) おゆみの道 緑とせせらぎの会

1 事業の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働相手の選定(市) 協働相手を公募しましたか。公募しない場合は、選定理由を明確にしましたか。		
1-2 協働相手の選定(団体等) この事業の協働相手として自分の団体はふさわしい団体でしたか。	5	地域活動の経験豊富な人材が増っていること。優秀な外部ブレーンの支援をうけていること。
2 目的の共有 事業の目的・目標を共有しましたか。	5	
3 目的・目標の達成 事業の目的・目標は達成できましたか。	5	目標参加者数は大きく上まわった。
4 事業実施中の意見や情報の交換 適宜、意見や情報の交換を行い、必要に応じ協議事項の見直しを行うなど、柔軟に対応できましたか。	5	定期的に役員会を開催し内部の意思統一を図ると共に、活動予定や結果を都度報告してきた。
総合コメント 清掃作業に関しては所期の目標を実現できた。また、樹名板の取り付け、自然観察会の実施などにより、市民の関心が高まってきたように見受けられる。		

2 協働の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働の形態の選択(市) 選択した協働の形態(委託、共催、事業協力、支援・補助)は適切でしたか。		
1-2 協働の形態の選択(団体等) 自らの特性を活かせる連携方法でしたか。	4	
2 協働の意義の明確化 協働で実施する必要性やねらいを明確にしましたか。	3	活動の場でそのことを意識的に行ったとは言えない。
3 主体性・自主性の尊重 お互いを理解し、尊重して事業を進めましたか。	5	
4 役割と責任の自覚 役割分担や責任の所在が明確でしたか。	3	公園の清掃業者との役割分担が不明確なところがあった。
5 協働の成果 協働ならではの成果はありましたか。また、副次的な効果はありましたか。 副次的効果：会員が増えた、会員や職員の育成につながった、新たな事業展開や課題解決方法が見つかった等	4	公園緑地事務所、区役所、公民館、社会福祉協議会、地区連などから有形無形の支援を受けることが出来た。
総合コメント 必ずしも100点満点とはいえないが、お互いの立場を尊重しつつ共通の目標を実現するためのパートナーシップ構築の第一歩とすることが出来た。		

この振返りは、協働事業を行った双方が、協働事業への理解を深め、良好なパートナーシップを構築することにより、お互いに成長し、また、よりよい協働事業の発展につなげるために実施するものです。得点の高低や事業の優劣をつけるものではありませんので、率直な意見を記入してください。